第２回
進路説明会【資料】

令和５年１０月１３日（金）実施

文京区立第九中学校第３学年

ゆずり葉

河井　酔茗

子供たちよ
これはゆずり葉の木です。
このゆずり葉は
新しい葉が出来ると
入り代ってふるい葉が落ちてしまうのです。

こんなに厚い葉
こんなに大きい葉でも
新しい葉が出来ると無造作に落ちる
新しい葉にいのちを譲って――。

子供たちよ
お前たちは何を欲しがらないでも
凡てのものがお前たちに譲られるのです。
太陽の廻るかぎり
譲られるものは絶えません。

輝ける大都会も
そっくりお前たちが譲り受けるのです。
読みきれないほどの書物も
みんなお前たちの手に受取るのです。
幸福なる子供たちよ
お前たちの手はまだ小さいけれど――。

世のお父さん、お母さんたちは
何一つ持ってゆかない。
みんなお前たちに譲ってゆくために
いのちあるもの、よいもの、美しいものを、
一生懸命に造っています。

今、お前たちは気が附かないけれど
ひとりでにいのちは延びる。
鳥のようにうたい、花のように笑っている間に
気が附いてきます。

そしたら子供たちよ、
もう一度ゆずり葉の木の下に立って
ゆずり葉を見る時が来るでしょう。

目　次

はじめに

第１章　進路を具体的に決定するにあたって

1　今後の進路決定に向けて……－２－
2　志望校の決定時期……－３－
3　入試日程・出願書類の確認……－３－
4　担任との連携を密に……－３－
5　健康管理……－３－
6　今後のスケジュールとやるべきこと……－４－

第２章　入試選抜方法について

1　都立……－７－
（1）都立高校の入試の種類……－７－
（2）令和６年度主な変更点……－７－
（3）インターネット出願の流れ……－９－
（4）入試日程……－１０－
（5）都立高校の推薦に基づく選抜……－１１－
（6）都立高校の学力検査に基づく選抜……－１３－
（7）その他の情報……－１６－
（8）都立産業技術高等専門学校……－２２－
2　私立……－２３－
（1）推薦入試……－２３－
（2）一般入試……－２４－
（3）入試日程……－２４－
（4）私立高校を受験する際の留意点……－２５－
3　今後ご提出いただく書類について……－２６－

資料集

はじめに

修学旅行も終わり、いよいよ中学卒業後の進路について、その方向性を決める時期になりました。小学生から中学生になるのとは異なり、子供たちは自分の進むべき道を決定するプロセスを初めて体験することになります。

実は、このプロセスを体験するということが大事なのであり、この体験がこの先、大学入試や就職につながることになるわけです。

「就活」という言葉が流布し始めたのは、一昔前の話となりました。高校二年生、あるいは大学三年生で、自分が社会に出て労働の対価に報酬を獲得して生活していく、ということを考える。しかし、自分自身で進路を決定するためのプロセスを身に着けてこなかった若者が多く排出されるようになった我が国の就労は、危機的な状況を迎えています。もちろん雇用政策も要因の一つではあります。しかしその責任は、若者本人にも、親にも、教育にもあると、現状は訴えかけています。

自分で考え、きちんと親と相談し、自分の短期的な将来像と現状を天秤にかけながら、希望する進路先の情報を集め、比較検討し、しかるべき手続きをきちんと踏んで試験を受ける。教師をはじめ、いろいろなアドバイスを真摯に受け止め自分のものとしながら、しかし最後は自分自身が決定する。必ず一人一人の子供たちがこのプロセスを体験すること、「進路決定」を自らの意志と作業で行ったのだという実績と自負、これらを得ることこそ、その先を切り開いていく自分を支えるベースとなるのです。

大人として、将来を担う「金のたまごたち」を育てるということは、「自分の意志と力で、自分の生きる道を切り開いていくことができる能力を子供たちに付けてあげること」だろうと思います。子供はじき親の手を離れ、独り立ちしていかねばならない。その力は、就職する年齢に達したからというだけでは身に付いていないものです。もし身に付いていないとしたら、その子はかわいそうです。

> 世のお父さん、お母さんたちは
> 何一つ持ってゆかない
> みんなお前たちに譲ってゆくために
> いのちあるもの、よいもの、美しいものを、
> 一生懸命に造っています

「進路決定という取り組みを通じて自分という人間を磨く」と生徒たちにはアドバイスしています。しかし現実的には、自分の今まで培ってきた財産と、高校の難易度を見比べながら、目先の高校選びに終始してしまうことが多い。せめて大人が、その子の「本当に望む力、つけておいてよかったといつの日か思ってもらえる力」を意識し、子供たちを大きな愛で受け止めてあげてほしいと願います。

> そしたら子供たちよ
> もう一度ゆずり葉の木の下に立って
> ゆずり葉を見るときが来るでしょう。

そうです。今は私の子でも、その子はやがて親になるのですから。

第１章　進路を具体的に決定するにあたって

いよいよ自分自身の進路を具体的に決める時期を迎えました。中学校卒業後のより良い進路を決めるために、もう一度自分をよく見つめ直し、より詳しく検討していきましょう。

1　今後の進路決定に向けて

・進学の目的をはっきり持つと、入学後意欲的に生活を送ることができます。
・特に私立高校では、独自の教育方針や校風があることに注意しましょう。
・入試で難易度の高い学校が、自分にとって良い学校とは限りません。
・本人の希望、保護者の考えを出し合い、家庭で十分に話し合ってください。
・担任とよく相談しましょう…学年の教員全員でバックアップします。
・説明会、見学、体験入学、学校案内などで、希望する学校についてよく調べましょう。（通学時間、設備、カリキュラム、授業料、卒業後の進路など）

※注意点
・受験する学校はすべて進学する可能性があるという意識を持ち、第一志望以外の学校についてもよく調べて下さい。
・卒業時に全ての生徒が進路先を得るために、第一志望が合格した場合はその後、それ以外の高等学校を受験しないようにしてください。

＜文京区立第九中学校 第３学年 進路関係 おもな年内の予定＞

１０月２３日（月）第２回進路希望調査〆切　※推薦・併願優遇受験希望も兼ねます
１１月上旬頃　　都立高校募集案内配布予定
１１月　２日（木）第３回領域診断テスト
１１月　６日（月）～１５日（水）第２回三者面談　第１回面接練習
１１月１１日（土）高校の先輩に話を聞く会
１１月２０日（月）～２２日（水）期末考査
１１月２４日（金）受験用個人写真撮影
１１月２６日（日）ESAT-J 実施当日
１１月２７日（月）第３回進路希望調査・調査書記載事項希望調査〆切
１２月　１日（金）仮内申通知
１２月　４日（月）～　８日（金）第３回三者面談　推薦願・併願優遇願〆切
（私立推薦・第一志望・併願受験校決定、都立推薦・一般受検校決定）
１２月１５日（金）・１６日（土）私立高校入試相談
１２月１７日（日）ESAT-J 予備日
１２月２５日（月）調査書作成依頼書〆切

2　志望校の決定時期

都立（推薦に基づく選抜）と私立（推薦・併願優遇制度）の利用については、本日配布した第２回進路希望調査に推薦・併願優遇希望を記入する欄がありますので、記載していただき校内で検討、学校長の承諾を受けた上で、１１月６日（月）～１１月１５日（水）に行われる三者面談にて「推薦願・併願優遇願」をお渡しいたします。**１２月４日（月）～１２月８日（金）に予定されている三者面談にて「推薦願・併願優遇願」をご提出いただきます**。ただし、都立（推薦に基づく選抜）については、出願前であれば受検校の変更が可能です。万が一変更する際には、出願前にご連絡ください。

一般入試については、出願関係書類準備が必要となる為、１２月４日（月）～１２月８日（金）に予定されている三者面談において受験校を絞れるようにしていただきたいと思います。最終的には１２月２５日（月）〆切の調査書作成依頼書の提出をもって、受験（検）校の確定といたします。

各試験の詳細につきましては後述します。

3　入試日程・出願書類の確認

当たり前ではありますが、出願に必要な書類、出願日、試験日、出願・入学等に必要な手続きの日程をしっかりと確認しておいてください。書類の提出が１日でも遅れると、試験を受けることができません。都立書類の一部は中学校から配布しますが、私立の書類は全てご家庭で準備をしていただきます。また、私立では多くの学校で Web 出願の手続きを行っています。教員が関わることができませんので、必要書類や日程にご注意ください。

4　担任との連絡を密に

進路決定へ向けての三者面談は１１月と１２月の２回予定しています。しかし、この機会以外にも個別相談を受けて、併願優遇制度利用の約束が高校とできた、進路希望調査を提出したときと志望校が変わりそうだ、文化・スポーツ等特別推薦を利用したい、志望校の部活動練習会に参加してきた、などの進路に関する報告は必ず担任にしてください。

5　健康管理

今後、学習にますます力が入り、忙しくなってくると思いますがバランスの良い栄養・睡眠・適度な運動を行い、今から健康管理をしておくことが重要です。いくら努力を積み重ねても心身ともに不調で実力を発揮できないことほど悲しいことはありません。生徒の皆さんが意識を高めることはもちろんですが、保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

6　今後のスケジュールとやるべきこと

第２回進路希望調査	10 月 23 日（月）〆切	推薦入試および併願優遇入試の希望書も兼ねています。希望する生徒に関しては、学校推薦に値するかどうかを学校で協議します。希望する際には第２回三者面談で書類をお渡ししますので、第３回面談までに提出してください。
面接ガイド	10 月 23 日（月）～	面接に向けての準備を、本冊子を用いて進めていきます。時間は十分にとれないので、面接練習が始まるまでに各自で書き進めましょう。
第３回領域診断テスト	11 月２日（木）	最後の領域診断テストです。この結果をもとに第３回三者面談を実施します。
第１回面接練習	11 月６日（月）～ 15 日（水）	推薦受験を希望している生徒を中心に午後の時間を使って面接練習を実施します。試験官は校長先生か副校長先生です。
第２回三者面談	11 月６日（月）～ 15 日（水）	この面談では推薦試験や併願優遇など事前相談を必要とする受験を考えている場合は必ず申し出てください。 推薦や併願優遇で受験校を希望した生徒に**「推薦願」「併願優遇願」**を渡します（推薦の可否が決定するわけではありません。今後の相談によります）。第３回三者面談で提出してください。
高校の先輩に話を聞く会	11 月 11 日（土）	４校から講師を派遣してもらいます。今後の進路選択や受験に向けてのアドバイスをしてくれるので、しっかりと受け止めましょう。
２学期期末考査	11 月 20 日（月）～ 22 日（水）	入試で用いる内申に関わる最後の定期考査です。しっかりと準備をして良い結果を出せるようにしましょう。
受験写真・卒業アルバム用個人写真撮影	11 月 24 日（金）	個人写真を撮影します。受験写真はＱＲコード付きで配布しますので、ネット出願する際には写真をダウンロードして使用してください。
中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）	11 月 26 日（日）	普段の授業でやってきたことを発揮してください。当日会場で配布された用紙は翌日に担任に提出してください。
調査書等記載住所氏名確認願 卒業証書卒業生台帳記載内容確認書	11 月 27 日（月）〆切	卒業に関する書類を第２回三者面談で配布します。正式な表記（「邊」と「邉」、「髙」と「高」など）や住所、卒業証書で使用したい表記を確認してください。
第３回進路希望調査 諸活動の記録	11 月 27 日（月）〆切	最後の進路希望調査です。本人の希望を担任と最終確認します。私立の推薦試験や併願優遇など、「事前相談」を必要する受験の有無など、受験パターンの最終希望を書いてください。変更があった場合は速やかに申し出てください。 調査書には内申や出欠席等のほかに中学３年間で頑張ったことを「諸活動の記録」として文章で記載します。そこで書いてほしいことを希望調査で申告してください。

仮内申	12月1日（金）	現段階での3科、5科、9科の評定の合計（内申）をお伝えします。あくまで「仮」のため、このあとの授業次第では変動する可能性がないわけではありません。
第3回三者面談	12月4日（月）～ 8日（金）	最後の三者面談です。受験校の決定と受験パターンの決定をします。仮内申および第3回領域診断テストの結果をもとに話をします。関係する生徒は**「推薦願」「併願推薦願」**を担任まで提出してください。
第2回面接練習	12月4日（月）～ 8日（金）	推薦受験を希望している生徒を中心に午後の時間を使って面接練習を実施します。試験官は校長先生か副校長先生です。
推薦願 併願優遇願	12月8日（金）〆切	第3回三者面談で提出してください。本書類の提出をもって入試相談及び推薦入試の対象とします。
都内私立高校入試相談	12月15日（金）・ 16日（土）	中学校と各私立高校で、推薦、第1志望、併願優遇受験者について、受験の可否や合格の可能性について協議します。
自己ＰＲカード練習	12月15日（金）	面接ガイド等を参考に都立推薦受検者を中心に「自己ＰＲカード」の書き方の練習をします。清書は1月9日（火）までに提出してください。
中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）予備日	12月17日（日）	１１月２６日（日）に正当な理由があって受験できなかった人のための追試日です。受験のためには１１月２６日（日）以降に申請が必要です。
調査書作成依頼書	12月25日（月）〆切	第3回三者面談で配布する封筒です。受験校を決定、記入して提出してください。独自様式の調査書や推薦書、要項等を同封してください。ここで出た受験校に対して書類を作成します。
調査書記載事項通知書	1月9日（火）配布	高校に提出する調査書の記載内容を保護者の方に通知する書類です。（九中より厳封し親展扱いで生徒から保護者の方へ渡されます。生徒が直接開封禁止）
都外私立高校入試		私立高校は高校により出願や手続きが異なります。ネット出願が多いです。１２月上旬から出願開始しているところも多いです。受験番号や受験結果については分かり次第担任に伝えてください。
都内私立推薦入試		私立高校は高校により出願や手続きが異なります。ネット出願が多いです。１２月上旬から出願開始しているところも多いです。受験番号や受験結果については分かり次第担任に伝えてください。合格したら辞退できません。
都立推薦入試	出願：1月12日（金）～ 18日（木） 検査：1月26日（金）・ 27日（土） 発表：2月 2日（金）	ネット出願が行われています（やりかたは後述します）。合格したら辞退できません。一般入試の出願は推薦入試の合否発表以降に行ってください。
都内私立一般入試		私立高校は高校により出願や手続きが異なります。ネット出願が多いです。１２月上旬から出願開始しているところも多いです。受験番号や受験結果については担任に

		伝えてください。私立併願優遇を利用する生徒は、都立第１志望の場合、延納手続きをくれぐれも忘れないようにしてください。
都立一般入試	出願：1月31日（水）～ 2月　6日（火） 取下：2月13日（火） 再提出：　14日（水） 検査：2月21日（水）・ 発表：3月　1日（金）	ネット出願が行われています（やりかたは後述します）。
学年末考査	2月２６日（水）～ ２８日（金）	高校選抜には影響を及ぼしませんが、入学後の高校へ３年の学年成績として送付されます。クラス分け思慮などにも使われますので最後までしっかりやりましょう。

第２章　入試選抜方法について　※第１回進路説明会の内容と一部重複します

１　都立

（１）都立高校の入試の種類

推薦に基づく選抜（推薦入試）	一般推薦 文化・スポーツ等特別推薦
学力検査に基づく選抜（一般入試）	第一次募集・分割前期募集 分割後期募集・第二次募集

（２）令和６年度東京都立高等学校入学者選抜における主な変更点

1. 男女合同選抜の実施

令和 5 年度入学者選抜では、第一次・分割前期募集における全日制普通科の 108 校において、男女別に定めた募集人員に基づいて合格者を決定する男女別定員制で選抜を行ったが、令和 6 年度入学者選抜では、男女合同で定めた募集人員に基づいて合格者を決定する男女合同選抜に移行します。

令和 5 年度入学者選抜では、推薦に基づく選抜の一般推薦においては、全日制普通科の 103 校において男女別定員制で選抜を行ったが、令和６年度入学者選抜では、男女合同選抜に移行する。文化・スポーツ等特別推薦を実施する学校のうち、各学校が定める一部の種目等においては男女別に募集人員を定め、その募集人員に基づき選抜を行います。

実施時期	移行措置
令和4年度入選	男女別定員のうち男女合同で決定する割合10%を全校で実施
令和5年度入選	男女別定員のうち男女合同で決定する割合20%を全校で実施
令和6年度入選	**男女合同選抜　（推薦に基づく選抜も含む。）**

2. 新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行を踏まえた主な対応

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、５類に移行したことを踏まえ、令和６年度入学者選抜では各検査において換気等の基本的な感染症対策を継続した上で、以下のとおり実施します。

＜推薦に基づく選抜における検査方法等について＞

・コロナ禍において、感染拡大を防止する観点から中止していた集団討論は、必要と判断した学校で実施。

・文化・スポーツ等特別推薦では、受検者同士の接触を伴う検査を可能とします。

・文化・スポーツ等特別推薦及び理数等特別推薦では、コロナ禍において学校生活を送った受検者の実情に鑑み、出願の基準に大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求めない対応を継続します。

＜追々検査の廃止等について＞

新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる者等への対応として、令和４年度入学者選抜及び令和５年度入学者選抜において実施した「追々検査」は実施しない（第一次募集の検査日当日に新型コロナウイルス感染症を含むインフルエンザ等学校感染症に罹患した者、学校保健安全法第 19 条により、中学校長が出席停止の措置を行った者を対象とした「追検査」については、継続して実施する。）。

3. 出願手続（入学願書等提出方法）

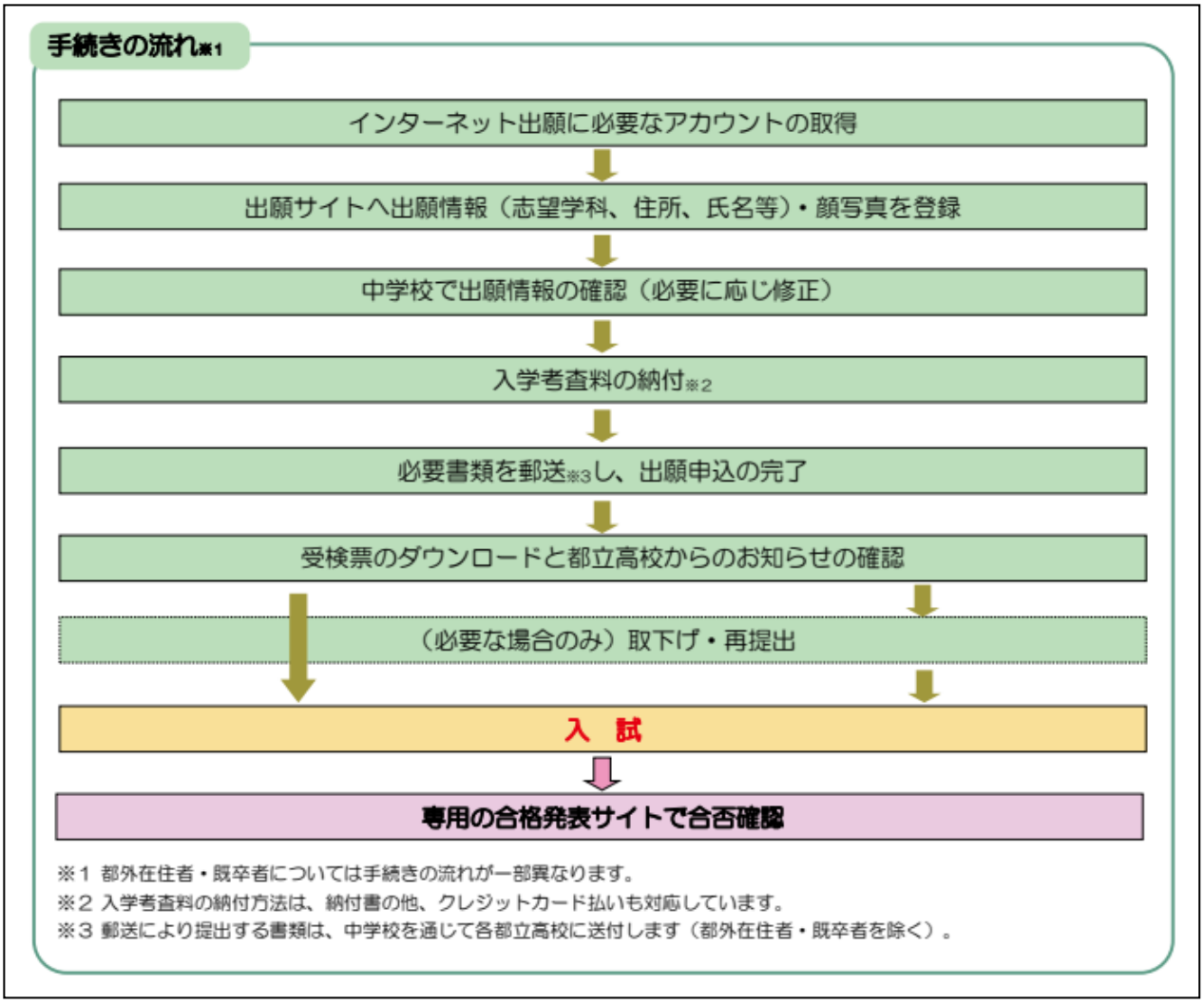
令和５年度入学者選抜から全校で実施したインターネットを活用した出願を、海外帰国生徒対象４月入学生徒の選抜においても実施します。

なお、調査書等出願に要する書類については、引き続き、郵送により提出する方法とします。

インターネットを活用して受検者自身が選抜の結果を照会できる合否照会サイトを、推薦に基づく選抜、第一次・分割前期募集のほか、分割後期・第二次募集、海外帰国生徒対象の選抜、引揚生徒対象の選抜、在京外国人生徒対象の選抜、国際高校バカロレアコースの選抜に対応できるよう拡充します。

（3）インターネット出願の流れ（「東京都高等学校入学を希望する皆さんへ」より）

令和６年度都立高校入試（推薦、第一次募集・分割前期募集、海外帰国生徒対象入試）においては、インターネットを活用した出願（「インターネット出願」といいます。）を実施します。



（4）入試日程

◎推薦に基づく選抜

入学願書受付日	令和６年1月１２日（金）～１８日（木） ※校内での〆切は１月 11 日（木）の予定
実施日	令和６年1月２６日（金）・２７日（土） ※２日間行うかは高校により異なる
合格発表	令和６年2月2日（金）

◎学力検査に基づく選抜

	第一次募集及び分割前期募集	分割後期募集及び 全日制第二次募集	定時制第二次募集
入学願書受付日	令和６年１月 31 日（水）～ 2月６日（火） ※校内〆切１月 30 日（火）	令和６年3月6日（水） ※高校へ出願者が持参する	令和６年3月21 日（木） ※高校へ出願者が持参する
取り下げ	令和６年２月 13 日（火）	令和６年３月７日（木）	令和６年3月22 日（金）
再提出	令和６年２月 14 日（水）	令和６年３月８日（金）	令和６年3月25 日（月）
実施日	令和６年2月２１日（水）	令和６年3月9日（土）	令和６年3月26 日（火）
合格発表	令和６年3月1日（金）	令和６年3月14 日（木）	令和６年3月27 日（水）

◎海外帰国生徒の入学者選抜

	第一次募集及び分割前期募集
入学願書受付日	令和６年１月 31 日（水）～2月7日（水） ※校内〆切１月 30 日（火）
取り下げ	令和６年２月 13 日（火）
再提出	令和６年２月 14 日（水）
実施日	令和６年2月 15 日（木）
合格発表	令和６年２月19 日（月）

※帰国・引揚生徒対象又は在京外国人生徒対象（国際高校）の志願者は、一般の都立高校の第一次募集・分割前期募集にも出願できます。ただし、帰国・引揚生徒対象又は在京外国人生徒対象（国際高校）に合格した場合、それ以後の都立高校の受検はできません。

◎全日制一次学力検査問題の自校作成

<table>
<tr>
<td>全日制一次学力検査問題の自校作成
<table><tr><td></td><td>Ｒ６入選</td><td>Ｒ５入選</td></tr><tr><td>実施校*</td><td>１０校</td><td>１０校</td></tr></table>*国際高校を除く。</td>
<td>第一次募集において、自校で作成した学力検査問題３教科（国語、数学、英語）と、都立高校共通問題２教科（社会、理科）により実施する。
【実施校】（１０校）
○普 通 科（7校）
区部：日比谷、戸山、青山、西（4校）
市部：八王子東、立川、国立（3校）
○普 通 科（単位制）：新宿、墨田川、国分寺（3校）
※ 国際高校では、自校で作成した学力検査問題１教科（英語）と、都立高校共通問題４教科（国語、数学、社会、理科）により実施する。</td>
</tr>
</table>

（５）都立高校の推薦に基づく選抜

◆目的

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

◆条件

（１）令和５年１２月３１日現在、都内在住で、都内の中学校に在学していて、入学後も引き続き都内に在住し、令和６年３月に都内の中学校を卒業する見込みの生徒

（２）志願する都立高校を第１志望とする生徒

◎一般推薦

◆特徴

○ 一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。

○ 検査は、集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査を組み合わせて実施します。集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の内容については、各学校で定めます。

○ 集団討論と個人面接は、原則として全ての学校で実施します。（集団討論を実施しない学校もあります。）

○ 小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査は、それらの中から各学校が一つ以上を選んで実施します。

○ 選考は、調査書点のほか、集団討論及び個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で行います。

◆中学校に提出していただく書類

① 入学願書（インターネットによる入力。入力後学校で承認。願書をプリントアウト）

② 推薦願（１１月の三者面談で担任からお渡しします）

③ 自己 PR カード（１２月中に配布します）

◎文化・スポーツ等特別推薦

	令和６年度	令和５年度
実施校	**８９校**	８８校

◆特徴

○　文化・スポーツ等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。文化・スポーツ等特別推薦は、実施する学校と実施しない学校があります。また、募集人員は、一般推薦の募集人員の内に含まれます。

○　検査は、文化・スポーツ等特別推薦を実施する全ての学校で、個人面接又は集団面接及び実技検査を実施します。作文など、その他の検査を実施する場合は、各学校で内容を定めます。

○　選考は、調査書点のほか、個人面接又は集団面接、実技検査及び各学校が定めたその他の検査の各点数を総合した成績で行います。

◆中学校に提出していただく書類

①　入学願書（インターネットによる入力。入力後学校で承認。願書をプリントアウト）

②　推薦願（１１月の三者面談で担任からお渡しします。）

③　自己 PR カード（１２月中に配布します。）

④　文化・スポーツ等特別推薦書（各自で入手し、指導者に記入してもらい、担任に提出　※担任が指導者を兼ねることもある）

◎理数等特別推薦

	令和６年度	令和５年度
実施校	**２校（立川・科学技術）**	１校（立川）

◆特徴

○ 理数等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。

○　検査は、理数等特別推薦を実施する立川高校の創造理数科で、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文を実施します。

○　選考は、調査書点のほか、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の各点数を総合した成績で行います。

〇　科学技術高校の理数科※仮称においても、理数等特別推薦を実施する予定です。

◎推薦に基づく選抜の合格判定

推薦入試における調査書点は、調査書における各教科の観点別学習状況の評価（全２７観点）又は評定（９教科）のどちらか一方を点数化します。点数化するに当たり、観点別学習状況の評価を用いる場合は、各都立高校の特色に応じて、特定の観点の配点を高くするなどして活用します。なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、観点別学習状況の評価を用います。

各学校の募集人員に占める推薦入試の募集人員の割合については、１１月上旬に発行の「令和６年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

調査書点	集団討論・個人面接点	小論文又は作文点	実技検査点	その他学校が設定する検査の点数
総合成績				

※「令和６年度の各校の配点や実施内容（個人面接か集団面接か等）」、「令和５年度に実施した、作文、小論文、実技検査等のテーマ一覧」は東京都教育委員会 HP に公開される予定です。必要があれば御確認ください。

（６）都立高校の学力検査に基づく選抜

◎第一次・分割前期募集、第二次・分割後期募集　※ここでは第一次・分割前期について説明

◆条件

・都内に住所を有し、保護者と同居しているもの。

◆特徴

・調査書、学力検査による選考が基本。

・高校によって個人面接（集団面接を実施する高校もある）、作文、小論文、実技等

◆中学校に提出していただく書類

①入学願書（インターネットによる入力。入力後学校で承認。願書をプリントアウトし、担任へ提出。）

◎学力検査に基づく選抜の合格判定

第一次募集・分割前期募集では、原則として、国語、数学、英語、社会、理科の５教科を実施します（ただし、芸術及び体育に関する学科については、当該学科に関する能力、適性等をみるため実技検査を行うことから、学力検査は３教科となります。）。また、分割後期募集・第二次募集では、原則として、国語、数学、英語の３教科を実施します。

なお、学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

<table>
<tr><td>学力検査の得点</td><td>調査書点</td><td>スピーキングテスト結果</td><td rowspan="2">面接点（※）</td><td rowspan="2">小論文又は作文点（※）</td><td rowspan="2">実技検査点（※）</td></tr>
<tr><td colspan="3">総合得点</td></tr>
<tr><td colspan="6">総合成績</td></tr>
</table>

学力検査の得点、調査書点及び点数化したスピーキングテスト結果のほか、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する学校ではこれらの点数を総合した成績で行います。

◎学力検査の得点と調査書点の比率

全日制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「７：３」、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「６：４」になります（ただし、芸術及び体育に関する学科については、学力検査が３教科となることから、どちらの募集も「６：４」となります。）。また、定時制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「７：３」又は「６：４」のどちらかを各学校が定め、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「６：４」又は「５：５」のどちらかを各学校が定めます。

◎学力検査に基づく入試における調査書点

学力検査を５教科で実施する場合に、学力検査を実施しない実技４教科について、評定の合計を２倍して、点数化します。学力検査が３教科（国語・数学・英語）の場合には、これらの教科を除いた６教科の評定の合計を２倍して、点数化することになります。

◎学力によらない入試

・チャレンジスクールでは、調査書を用いず、また、学力検査を行わず、志願申告書、個人面談及び作文により選考を行います。（調査書及び自己 PR カードの提出は不要です。）

・エンカレッジスクールでは、学力検査を行わず、調査書、面接、小論文又は作文及び実技検査の各得点を総合した成績で選考を行います。

◎都立高校受検までの基本的な流れ

①必要書類の取得

推薦に基づく選抜

・入学願書（インターネット入力）

・文化・スポーツ等特別推薦書（希望者のみ）

（東京都教育委員会 HP・各校から取得）

・推薦願（１１月の三者面談時に配布）

・自己 PR カード（１２月下旬に学校から配布、東京都教育委員会 HP から取得）

学力検査に基づく選抜

・入学願書（インターネット入力）

②担任へ提出

推薦に基づく選抜

・入学願書（承認後、受験料の支払い、願書をプリントアウト）

・文化・スポーツ等特別推薦書

（中学校が記入するのでそのまま）

・推薦願（必要事項を記入）

・自己 PR カード（冬休みに清書）

学力検査に基づく選抜

・入学願書（承認後、入学考査料支払い、願書をプリントアウト）

③担任から

推薦に基づく選抜

・自己 PR カード

学力検査に基づく選抜

・自己 PR カード

④中学校から高校へ送付

中学校から各高校へ、必要書類（調査書、自己 PR カード等）をまとめて郵送します。「受検票」はインターネット出願後、指定された期間に各自で印刷します。

※チャレンジスクールは調査書の提出が必要無く、自己ＰＲカードに代えて各高校所定の「志願申告書」を提出することとなっています。「志願申告書」は書く内容が多いので、志望することが決定したら、なるべく早く、各高校から取得してください。

（７）都立高校入学者選抜その他の情報

◎自己 PR カード（令和６年東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへより）

自己ＰＲカードは、志望理由や皆さんが中学校で取り組んできた学習や様々な活動から得たことなど、志望校に最も伝えたいことを記入して提出するものです。

自己ＰＲカードを点数化することはありませんが、面接を行う場合の面接資料や入試の合格判定資料の一部として活用したり、学校生活に対する意欲等を確認したりする資料になります。

面接を実施する高校を志願する場合は、この自己ＰＲカードを出願時に志願する高校へ提出します。

面接を実施しない高校を志願する場合は、入学手続後に入学する高校へ提出し、入学後の個人面談等で使用します。

◎インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査について

都立高校には、インフルエンザ等学校感染症の罹患や病気による入院等のために、第一次募集を受検できなかった生徒の受検機会を確保することを目的とした「追検査」という入試制度があります。追検査は、分割後期募集・全日制第二次募集と同日程で実施します。

※なお、分割募集を実施する学校は、同日程で分割後期募集を実施するため、追検査を実施しません。また、推薦入試や海外帰国生徒等対象の入試など、その他の選抜でも追検査は実施しません。

※ 新型コロナウイルス感染症についても、追検査の対象となります。

◆学校感染症等で検査を欠席した場合の申請について

○　学校感染症の罹患等により検査を欠席した場合で、追検査を希望するときは、中学校の先生に連絡し、相談してください（在籍する中学校から受検する高校へ欠席の連絡をすることになっています。）。

○　中学校に連絡した後、速やかに追検査の措置申請書を中学校の先生にも見てもらい、出願した高校へ提出します。

○　出願日に、入学願書等のほか、医療機関の証明書（罹患証明書等）又は中学校長が出席停止の措置を行ったことを証明する書類を高校へ提出します。

◆追検査の日程

○　追検査は、分割後期募集・全日制第二次募集と同じ日程で実施します。

○　追検査に申請した人は、申請を取り下げて分割後期募集や全日制第二次募集に出願することはできますが、追検査か分割後期募集・全日制第二次募集かのどちらか一方にしか出願できません。また、分割後期募集・全日制第二次募集に出願後、申請を取り下げて追検査に再提出することもできません。

◆追検査での検査内容

○　追検査では、国語・数学・英語の３教科の学力検査と、各学校で定める検査を組み合わせて実施します。各学校で定める検査内容については、中学校の先生又は都立高校に確認してください。

○追検査で使用する学力検査問題は、分割後期募集・全日制第二次募集と同一のものになります。

◎集団討論

令和６年度都立推薦入試から、一部の高校で復活する「集団討論」について、概要等を説明します。集団討論は平成２５年度入学候補者の都立推薦試験から導入されましたが、令和３年度入試から感染拡大防止の一環として中止されていました。

集団討論の目的

与えられたテーマ

- 自分の考えを明確に述べることができるか
- 複数名の受験者同士が論理的に議論を進めて結論を導くことができるか

目的から導き出される評価の観点

（1）コミュニケーション能力はあるか
（2）課題に対する考えを導き出す思考力はあるか
（3）発言しようとする内容を取捨選択し有効な発言を行う判断力はあるか
（4）自分の考えを集団に伝える表現力はあるか
（5）自分の意見を発表しようとする積極性はあるか
（6）お互いの意見を良く聞きそれに対する有効な発言を行う傾聴力はあるか
（7）討議の流れをつかみ種々の発言をバランス良く取り入れる力はあるか（バランス感覚）

都立推薦と集団討論

都立推薦における「集団討論」は導入されたとき、どのような試験になるか正確なところは分からず、きっちり指導を入れる中学もあれば、「先入観を与える」ということで、まったく指導を入れなかった中学もあったようです。

しかし今年度は、以前のデータがありますから、準備すべき部分は準備し、練習すべきところは練習をしっかり行って臨むことができますし、それは必要だと思います。

これまでのテーマについては、東京都教育委員会の HP にある「東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜で実施した集団討論、小論文・作文、実技検査のテーマ等一覧」にまとまっています。自分の志望校は、どんなテーマを受検生に課したのか、必ずチェックしておき、少なくともそのテーマに対して、自分の考えをまとめたり、しゃべる練習をしたりということはしておきましょう。

都立推薦における「集団討論」について、大切なことは「何が行われるのか」よりも、むしろ「都立を受ける者にとって、やることが増える」という観点です。

このことにより都立を推薦で受けようとする者の減少が懸念されましたが、平成２５年度入試では特に受検者の顕著な減少は見られませんでした。

集団討論の中身

（1）集団討論にあたる面接委員は３人。個人面接を行う人と同じ面接委員です。
（受検者が多い場合は、２人のことがあります）

（2）個人面接と集団討論は午前・午後に分けて行ったり、試験日をかえるなど、連続しては実施しないように配慮されます。
昨年度最も多かったのは、一日目に集団討論、二日目に個人面接を実施した例です。

（3）同じ日に個人面接と集団討論が行われる場合は、おおむね集団討論が先に行われます。
男女で入れ替えた高校もありました。（男子が集団討論の時、女子が個人面接）

（4）討論のテーマは、小論文・作文の課題と同じく、ほとんどの場合その場で示されます。

（5）内容はおおむね次の通りです。

①個人面接と同じように所属中学校、氏名を一人一人述べる。
②課題が示され、考える時間が与えられて課題に対する考えを一人一人述べる。
③それらの意見に対する賛同、または反論を述べる形で討論を進める。
④発言は申告制（挙手など）で、発言希望者が重複した場合は面接委員が適切に指名する。

（6）採点は、高校があらかじめ定めたいくつかの観点において、それぞれ「ＡＢＣ」「１２３」等の評価を行い、集団討論と個人面接の二つを通して評価を行う。

（7）配点は高校ごとに定め、「集団討論・個人面接点」として点数化する。この満点は高校が指定する。

対策

与えられる課題（テーマ）は、「受検者同士が意見をまとめやすいもの、お互いの立場で意見を述べやすいものにするなどの配慮をする」とされています。これまでのテーマについては、討論に適したテーマだったかどうか研究討議されているので、本年度は討議しやすいテーマになると予想されます。ただし、その高校独自の色を出してくる場合も想定できるので、注意は必要かもしれません。

◆そのため、「いじめ」「公共のマナー」「人権問題」などの普遍的な課題について、自分の考えをまとめておく。

◆また時事問題についての知識を得ておくことが大切。「昨今の政治関係」「平和問題」「ノーベル賞」など、新聞やインターネットから広く浅く情報を得る。

◆個人面接に比べ、集団討論ではコミュニケーション能力を見られる%が上がる。他者から自分の意見を否定された場合、単に反論するだけでなく、根拠を持って持論を展開させる心構えと、流れを読み、相手の意見で賛同できるところを見出すことが大切。

◆自分が頭に思い描いたことを実際に言葉にできるか（しゃべることができるか）という訓練をしておきましょう。

以前、練習に使用したテーマ例

（０１）社会貢献に大切なものはなにか。（０２）自転車専用レーンは必要だと思うか。
（０３）日本に二院制は必要か。（０４）新聞は必要か。
（０５）日本はオリンピックを招致すべきか。（０６）消費税は何%必要か。
（０７）なぜいじめはなくならないのか。（０８）年末年始、街のイルミネーションは必要か。
（０９）公共交通機関内の「優先席」は必要か。（１０）町にゴミ箱は必要か。
（１１）合唱コンの練習中、クラスのムードは最悪。どうする？
（１２）正月から商店を開けるべきか。（１３）原子力発電所は０にすべきか。
（１４）充実した高校生活を送るためには何が必要か。（１５）喫煙についてどう思うか。
（１６）動物園の動物は幸せか。（１７）日本はＴＰＰに参加すべきか。
（１８）授業中うるさくなり集中できない。どうする？
（１９）通信手段としてのスマホは必要か。（２０）校則は必要か。

ポイントは、その意見が「正解」か「不正解」かではありません。

- 「持論を持ち、それを自分の言葉で展開させられるか」
- 「相手に分かりやすく表現できるか（しゃべることができるか）」
- 「持論に根拠があるか」
- 「その根拠は妥当なものか」

このような観点で意見をまとめ、実際にしゃべってみたり、友達と討論してみたり練習しましょう。

実際の都立推薦集団討論で出されたテーマ例

（０１）あなたの乗った船が遭難。無人島を発見。船から一つだけ物を運び出すとしたら何か。
（０２）学校や社会において「リーダーシップ」をとる上で大切なこと、忘れてはならないことは何か。
（０３）校則を守らない生徒がいる。注意も聞かない。クラスメートとしてどうするか。
（０４）喫煙についてどう思うか。
（０５）青山さんは何月生まれの人か。（事前に「青山さん」についての情報プリントが渡されている）
（０６）町にゴミ箱は必要か。
（０７）合唱コンクールのクラス練習。クラスのムードは最悪。あなたはどうするか。
（０８）充実した高校生活を送るためには何が必要か。
（０９）ＩＴ機器の上手な利用法
（１０）この６人（討論メンバー）で無人島で過ごす。３０日間滞在するために何を持っていくか。
（１１）再生可能エネルギーを利用する事の意義と課題。
（１２）「自由」と「自分勝手」の違い。
（１３）原子力発電所の必要性について。
（１４）いじめはなくすことができないのか。
（１５）自転車の安全性について
（１６）環境保護と開発についてあなたはどちらを優先するか。

◎志願変更について

学力検査に基づく選抜のみ、各高校の応募倍率の状況等を考えての志願変更が１度だけ認められています。
※志願変更を考えている場合は、最初の高校への出願時に必ず担任に報告をしてください。

◆一次・分割前期募集

取下げ ＼ 再提出			全日制	定時制		
				定時制単位制		定時制単位制以外
				チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）	グループＢ（注３）	
全日制			○	×	×	×
定時制	定時制単位制	チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）	○	○	×	×
定時制	定時制単位制	グループＢ（注３）	×	×	×	×
定時制	定時制単位制以外		×	×	×	×

（注１）チャレンジスクールとは、六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校及び小台橋高校をいう。
（注２）グループＡとは、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）及び砂川高校をいう。
（注３）グループＢとは、新宿山吹高校、六郷工科高校、飛鳥高校、板橋有徳高校、青梅総合高校及び東久留米総合高校をいう。
※詳しくは、１１月上旬に発行予定の募集案内で御確認ください。

◆第二次・分割後期募集

取下げ ＼ 再提出		全日制	定時制単位制
			チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）
全日制		○	×
定時制単位制	チャレンジスクール（注１）、八王子拓真高校（チャレンジ枠）及びグループＡ（注２）	○	○

◆定時制第二次募集

取下げ ＼ 再提出		定時制	
		定時制単位制	定時制単位制以外
		グループＢ（注３）	
定時制	定時制単位制	グループＢ（注３）	○	○
定時制	定時制単位制以外		○	○

◎志願変更の手続き

①志願変更願を担任から取得する。

②必要事項を記入して担任へ提出。

③中学校が必要事項を記入後渡す。

④身分証明書（生徒手帳）と志願変更願を持って、出願した高校へ行き、書類を返却してもらう。

⑤インターネット入力により、出願手続きをし、変更先高校へ書類を提出しに行く。

◎海外帰国生徒等入学者選抜

<実施校>

三田高校、竹早高校、日野台高校、国際高校

<検査教科等>

国語、数学、英語、および面接

<出願に関する書類等>

・入学願書（インターネットによる入力。入力後学校で承認。願書をプリントアウトし、担任へ提出。）

・自己 PR カード

・海外における最終学校の成績証明書又は、これに代わるもの。中学校在学者の場合は調査書

（８）東京都立産業技術高等専門学校

◆入試日程

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜 第一次募集	学力検査に基づく選抜 第二次募集
願書受付日	令和6年1月１2日（金）～ 1月１8日（木）	令和6年1月３1日（水）～ 2月6日（火）	令和6年3月6日（水）
検査日	令和6年1月２6日（金）	令和6年2月１5日（木）	令和6年3月9日（土）
合格発表	令和6年2月　2日（金）	令和6年2月２0日（火）	令和6年3月１4日（木）

◆特徴

・推薦に基づく選抜は都立高校との同時出願は不可。第一志望であり、合格したら必ず入学すること。

・学力検査に基づく選抜（第一次募集）は都立高校との同時出願が可能。

◆中学校に提出していただく書類

※高専の入試要項や願書は、志願者本人が直接取りに行くか、HP 上で資料請求していただきます。（昨年度）

配布場所：高専荒川キャンパス、品川キャンパス、都立大学、都庁本庁舎（昨年度）

・推薦に基づく選抜

① 入学願書（高専から取得。必要事項を記入後に担任に提出。）

② 推薦書（高専から取得。担任へ提出。）

③ 調査書（高専から取得。担任へ提出。）

④ 推薦願（１１月の三者面談で担任からお渡しします。）

・学力検査に基づく選抜

① 入学願書（高専から取得。必要事項を記入後に担任に提出。）

② 調査書（高専から取得。担任へ提出。）

2　私立

（１）推薦入試

◎推薦入試の種類

①（単願）推薦　⇒入試相談が必要

②　第一志望推薦　⇒入試相談は学校による

③　第一志望優遇　⇒入試相談は学校による

④自己推薦　　⇒入試相談は必要でない学校が多い　※都内私立高校は原則行わないことになっています。

※推薦制度は、高校によって名称・試験項目等が異なるので学校説明会などでよく確認をしてください。

※入試相談とは？

１２月１５日以降に中学校側と私立高校側で推薦の有無等を確認するもの。入試相談が必要とされている場合は、入試相談を経なければ試験を受けることができない。

◆推薦入試にあたっての条件

・第一志望であり、合格したら入学すること。

・中学校長が推薦できる人物であること。

・高校側の示す基準や条件を満たしていること。

◆推薦入試の特徴

・調査書、面接、作文、学力検査、実技等による選考。

・合格の可能性は高い。（第一志望優遇・自己推薦を除く）

※学力検査重視のいわゆる落ちる推薦の場合は、この限りではありません。

◆中学校に提出していただく書類

① 推薦書（記入は中学校が行います。多くの高校が独自の書式を用意。）

② 調査書（記入は中学校が行います。高校によっては中学校で用意できる書式もあります。）

③ 推薦願（１１月の三者面談で担任からお渡しします。）

④ その他（高校によって必要な書類が異なりますので、よく御確認ください。）

◎推薦・併願優遇を希望される方へ

本日１０月１３日（金）配布の第２回進路希望調査に推薦・併願優遇希望の有無を記入する項目がありますので、そちらに記入をしてください。推薦・併願優遇の可否については学校全体での会議を経て、１１月の三者面談にて「推薦願・併願優遇願」を配布し１２月の三者面談にてご提出いただきます。なお、この希望調査で推薦・併願優遇を確定するものではありません。あくまで現段階での希望に応じてご記入ください。

また、１１月の面談の前に、３科、５科、９科の内申点（仮内申）をお伝えします。内申点がわかったらなるべく早く親子で個別相談会に参加してください。その際、１学期の成績でよいのか、２学期の成績なのかを確認しておいてください。

（２）一般入試

◎併願優遇

第一志望の学校が都立・他校私立の場合に利用する制度。第一志望の高校が不合格の場合は入学する。

◆条件

・高校側の示す基準や条件を満たしている。

・入試相談が必要である。

◆特徴

・一般入試と同じ内容を受験するが、合格の可能性が高い。（得点が極端に低い場合は不合格になる）。

・高校によっては、学力検査に点数に加点措置のみの対応もある。

・都立（一次・分割前期）の合格発表まで、入学金等の払い込みを待ってくれる高校が多い。
合格発表後に延納届け等必要な高校もあるので、よくご確認ください。

◆中学校に提出していただく書類

① 調査書（記入は中学校が行います。高校によっては中学校で用意できる書式もあります。）

② 併願優遇願（１１月の三者面談で担任からお渡しします。）

③ その他（高校によって必要な書類が異なりますので、よく御確認ください。）

◎一般入試

基本的に日程が重なっていなければ何校でも受験が可能です。

◆中学校に提出していただく書類

① 調査書（記入は中学校が行います。高校によっては中学校で用意できる書式もあります。）

② その他（高校によって必要な書類が異なりますので、よく御確認ください。）

（３）入試日程

推薦入試

入試相談	令和５年１２月１５日～
願書提出	令和６年１月１５日～
試　　験	令和６年１月２２日～
合格発表	令和６年１月２２日～
入学手続き	発表日～

一般（併願優遇）入試

入試相談	令和５年１２月１５日～
願書提出	令和６年１月２５日～
試　　験	令和６年２月１０日～
合格発表	令和６年２月１０日～
入学手続き	発表日～

※　東京都内の私立高校の例です。他県は日程が異なりますのでご注意ください。

（４）私立高校を受験する際の留意点

① 必ず学校見学に行く

推薦入試と併願優遇の利用には、学校見学会内での個別相談を「必須」としている高校もあります。志望を考えている高校には必ず保護者の方と一緒に行くようにしてください。

② 書類準備は各家庭で行う

私立高校の書類は原則各ご家庭で準備をしていただきます。一部の高校では中学校が各高校ＨＰからダウンロードして取得する場合もあります。出願の際に不足書類が無いように、よくご確認ください。

③ 出願方法に要注意

近年は多くの私立高校がＷｅｂ出願を行っています。以下に例を示します。

（例）都内のある私立高校の出願手順

1― 出願サイトにアクセス
2－ ユーザー登録
3― 出願情報登録（入試選択。推薦、一般第１回、第２回などを選択。１２月２０日から可能。）
4－ 受験料支払い（２０、０００円～３０、０００円前後が多い。各校で異なるので要確認。）
5－ 受験票印刷（受験票をダウンロードして印刷。）
6－ 出願書類郵送（調査書、顔写真を貼り付けたもの等を郵送。）

出願方法の詳細は高校ごとに異なります。（顔写真もデータ送付等）各高校の出願方法をよく確認してください。受験用写真は１１月２４日（金）に学校で撮影します。（QR コード付き）

④ 二次試験の申込み

残念ながら一次試験に合格できなかったときに、二次試験受験を考えているときは要注意です。二次試験への出願に改めて中学校側の書類が必要無い場合は、一次試験の合格発表後すぐにご家庭から申し込みが必要となります。中学校とのやり取りが無いので、申し込みを忘れてしまうことがあるようです。必要な手続きをすぐ行うようにしてください。

⑤ 高校が定める推薦基準

推薦や併願優遇の基準の例　（※素内申とは…評定をそのまま合計したもののこと）

① ３年の２学期の素内申が９科で 34 以上、かつ１がないこと
② ３年の２学期の素内申が３科で 10 以上
③ ３年次の遅刻・欠席が５日以内であること

以上①②③のすべての条件を満たすこと　ただし、漢検、英検または数検３級取得者は内申に＋1 できるものとする

3　今後ご提出いただく書類について

①　調査書等記載住所氏名など確認のお願い

②　諸活動の記録　作成準備資料作成のお願い

③　卒業証書・卒業生台帳　表記・記載内容確認書

④　第３回進路希望調査

⑤　推薦願（公立用）
⑥　推薦願（私立用）
⑦　併願優遇受験願い
　　該当者のみ

⑧　調査書作成願（調査書等を入れる封筒の表面に印刷されています）

⑨　都立高校ネット出願確認書

※p.4 からのスケジュールもご参照ください。

令和５年１１月１８日

第３学年保護者様

文京区立第九中学校
校長　　窪　宏孝

調査書等記載住所氏名など確認のお願い

中学校卒業後の進学・就職等、進路に関して提出する入学願書（住民票に記載されているもの）、受験票、自己ＰＲカード、当日の答案、調査書、成績一覧表などの本人の氏名・保護者の氏名・住所など統一して使用する必要があります。

これらの書類に正確に記入するために、あらためて下記の内容について確認させていただきます。なお、住民票に記載の文字が常用漢字表外字の文字の場合、その文字を常用漢字で代用しても構いませんが、入学願書、受験票及び調査書の表記は統一しなければならないので御確認ください。（例：澤→沢、邊→辺）

また、住所は「１丁目２番地３号棟４０５号室」などの表記は、「１－２－３－４０５」で結構です。

尚、卒業証書と卒業生台帳への記載につきましては、別途文書にて確認させていただきます。

クラス・出席番号	組	番
ふりがな		
氏名（漢字）		
生年月日		
郵便番号		
現住所	東京都　文京区	
電話番号		
ふりがな（保護者）		
保護者氏名		

みほん

お願い

・御確認いただき、訂正や追加がある場合、赤色で記入をお願いいたします。
・楷書で記入してください。
・外国籍の方は、登録証など公的な書類にある表記と同一の内容で御記入ください。
・１１月２８日（月）までに御提出ください。

令和５年１１月１８日

第３学年保護者様

文京区立第九中学校
校長　窪　宏孝

諸活動の記録　作成準備資料作成のお願い

「諸活動の記録」とは、学校が作成する調査書にある記入欄のひとつです。この欄は、学校内外の活動から特筆すべき活動を取り上げて、活動の事実や実績を客観的な記録として記入することになっています。

「学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・ボランティア活動・資格検定等の取得」などが該当します。下記の例を参考にして、箇条書きで６行以内にまとめて記入してください。

１１月２８日（月）までに担任までご提出ください。

＜例＞

・図書委員として活動（第３学年）
・テニス部員として３年間活動、区大会新人戦で３位に入賞（第２学年）
・美術作品〇〇が、区展で銀賞を受賞（第３学年）
・運動会実行委員長（第３学年）

※大会名などは、正確に記入して下さい。（賞状参照）

※一番下の欄には英検・漢検・数検など（３級以上）を記入し、取得した学年も書くこと。（１番良い級を書く）
現在受けている検定の結果が全て判明してから記入してください。

※内容に優先順位をつけてください。記入欄には限りがありますので、**順位の高いものを優先して記入するようにしてください。**

みほん

３年　　組　　番　生徒氏名

保護者氏名　　印

①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
漢字検定	級（　年）	英語検定	級（　年）	数学検定	級（　年）	（　）検定	級（　年）

[illegible]

《[illegible]》

[illegible]

[illegible]		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]　　[illegible]			[illegible]	[illegible]	[illegible] [illegible]　[illegible] [illegible]　[illegible]

※この欄には何も記入しないでください。

例入力

[illegible]		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]　　[illegible]			[illegible]	[illegible]	[illegible] [illegible]　[illegible] [illegible]　[illegible]

《[illegible]》

[illegible]

[illegible]		[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]　　[illegible]			[illegible]	[illegible]	[illegible] [illegible]　[illegible] [illegible]　[illegible]

みほん

氏名		性別	
生年月日			
住所			
保護者氏名			

11月28日（月）までに提出ください。

※この欄には何も記入しないでください。

第３回　進路希望調査

配布　１１月１７日（金）　　提出期限　１１月２７日（月）

３年　　組　　番　氏名

保護者氏名　　印

受験校を決定する時期となりました。最後の調査になります。２学期の中間考査・期末考査、領域診断テストなどを考慮に入れて、家族でよく相談しながら、進学希望校名・就職希望事業所名など誤りのないように具体的にご記入ください。なお、この希望調査にもとづいて、最終の三者面談である１２月の三者面談を行います。

１　進学希望

順位	学　校　名 （正式名称で記入）	科・コース	利用を考えている形態 ※どれか１つを選択		
			（推薦） （単願）	（併願） （併優）	（一般）
例	都　立　○　○　○　○　高等学校	○○○　科 ○○○　コース	○		
1	立　　学校	科 コース			
2	立　　学校	科 コース			
3	立　　学校	科 コース			
4	立　　学校	科 コース			
5	立　　学校	科 コース			

みほん

２　就職希望

事　業　所　名	職　種	備　考

３　進路に関して質問や不安な点等があれば、お書きください。

令和５年　　月　　日

文京区立第九中学校
校長　　窪　宏孝　様

推　薦　願（公立用）

（　　）立＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿科・コース

上記の学校の受験に関し、学校推薦を希望します。なお、推薦を受けるにあたり、次のことを遵守いたします。今後、ふさわしくない行動があった場合には、推薦取り消しに同意いたします。

1．　特別な事情がない限り、推薦願提出後に受験校の変更をしないこと。
2．　推薦を受けた者としての自覚を持ち、中学校卒業まで推薦にふさわしい学校生活を送ること。
3．　高校進学後も、文京九中の卒業生として自覚を持った高校生活を送ること。
4．　内定（合格）を受けた場合、他校を受験しないこと。

みほん

志望理由（具体的に本人が記入）
自己ＰＲ（各教科・総合の学習など学習面で努力したこと）
自己ＰＲ（委員会・部活動・学校行事など生活面で努力したこと）
保護者記述欄

３年　　組　　番　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

令和５年　　月　　日

文京区立第九中学校
校長　　窪　宏孝　様

推　薦　願（私立用）

私　立　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿科・コース

上記の学校の受験に関し、学校推薦を希望します。なお、推薦を受けるにあたり、次のことを遵守いたします。今後、ふさわしくない行動があった場合には、推薦取り消しに同意いたします。

1．　どのような事情があっても、推薦願提出後に受験校の変更をしないこと。
2．　推薦を受けた者としての自覚を持ち、中学校卒業まで推薦にふさわしい学校生活を送ること。
3．　高校進学後も、文京九中の卒業生として自覚を持った高校生活を送ること。
4．　内定（合格）を受けた場合、他校を受験しないこと。

みほん

志望理由（具体的に本人が記入）
自己ＰＲ（各教科・総合の学習など学習面で努力したこと）
自己ＰＲ（委員会・部活動・学校行事など生活面で努力したこと）
保護者記述欄

３年　　組　　番　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

令和５年　　月　　日

文京区立第九中学校
校長　　窪　宏孝　様

併　願　優　遇　受　験　願

私　立 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿科・コース

上記の学校の受験に関し、併願優遇受験を希望します。なお、併願優遇を受けるにあたり、次のことを遵守いたします。

1．　併願優遇受験願提出後に、受験校の変更をしないこと。

2．　中学校卒業まで推薦基準に準じた学校生活を送ること。

3．　高校進学後も、文京九中の卒業生として自覚のある高校生活を送ること。

4．　推薦等で合格した場合、それ以降の受験はできません。その場合の受験料等に関しては保護者が責任をもって高校側と確認して、指示に従うこと。

5．　第一希望（特別に第二希望として確認できている学校を含む）の高等学校に合格できなかった場合は、必ず上記の併願優遇校に入学手続きを済ませること。

みほん

志望理由（具体的に本人が記入）
保護者記述欄

３年　　組　　番　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

2023年度・令和5年度入試　調査書等作成願

文京区立第九中学校長様

下記の学校を受験致したく、出願に関する書類作成をお願い申し上げます。

３年　　組　　番　生徒氏名

保護者氏名　　印

【注意】

◎ 受験関係書類（この調査書願を含む）は封筒に入れて、学校へ御提出ください。
◎ 私立高校受験分は、１２月１６日（金）までに記入・提出をお願いします。なるべく早く御提出願います。
◎ 私立高校の願書でも学校長印（印）が必要な場合は、提出をしてください。
◎ 願書、推薦書、健康診断書、延納願、調査書など書類作成に必要なものは、すべて提出してください。
◎ 入試要項（またはそのコピー）を同封してください。
◎ 調査書が都立高校用でも可能な場合は、公立用に〇を付けてください。（私立高校から渡された用紙は不要です）
◎ 延納願の欄は、あり・なし　のどちらかに〇を付けてください。
◎ 私立高校について記入する際は、受験する学校の受験日順に、１から記入してください。
◎ よく内容を家庭で御確認の上、必要事項はすべて記入して提出をしてください。よろしくお願いします。

出願日順	受験先（科・コースも）	出願予定日	出願締切日	試験日	合格発表日	発表方法	入学手続締切日	封筒に同封するもの・作成を依頼するものに〇							担任確認欄
								入試要項	願書	中学校に作成依頼					
										調査書		推薦書	健康診断書 特別な	延納願	
										指定	公立用				
都立推薦	高校 科 コース	1/12	1/18	1/26 1/27	2/2	Web　８：３０ 掲示　９：３０	2/3	／	個人で印刷し学校に提出	／		／	／	／	
都立一般	高校 科 コース	2/1	2/7	2/21	3/1	Web　８：３０ 掲示　９：３０	3/2	／	個人で印刷し学校に提出	／		／	／	／	
私立①		／	／	／	／	掲示（　時～） 郵送 その他（　）	／							あり なし	
私立②		／	／	／	／	掲示（　時～） 郵送 その他（　）	／							あり なし	
私立③		／	／	／	／	掲示（　時～） 郵送 その他（　）	／							あり なし	
私立④		／	／	／	／	掲示（　時～） 郵送 その他（　）	／							あり なし	
私立⑤		／	／	／	／	掲示（　時～） 郵送 その他（　）	／							あり なし	
私立⑥		／	／	／	／	掲示（　時～） 郵送 その他（　）	／							あり なし	

みほん

都立高等学校　ネット出願確認書

推薦受験用　※推薦受験者は合否発表まで中学校の承認は行えません。

３年　　組　　番（　　）

志望校	高等学校	第１志望	コース 科・部
第２志望	科・部	第３志望	科・部
第４志望	科・部	第５志望	科・部

受検番号	

御家庭チェック欄	学校チェック欄	出願の流れ
		出願サイトのユーザＩＤ取得 志願者情報の入力
		顔写真の登録
		登録内容の一時保存
		出願確認書の記入、提出① 提出期限　推薦：１月１１日（水）　一般：１月３１日（火）
		中学校による出願の承認
		出願確認書の返却
		入学考査料の支払い クレジットカードによる支払い　または 納付書による支払い後、領収証書の写真のアップロード 支払い期限　推薦：１月１８日（水）　一般：２月７日（火）
		受検票のダウンロード・印刷
		出願確認書の記入、提出② 提出期限　推薦：１月２５日（水）　一般：２月２０日（月）

みほん